

□こいぬをつれたかりうど

牧野夏子／再話 佐々木マキ／絵 福音館書店

ある年老いた狩人は鉄砲を持たずに 狩りに行くのに、必ず獲物を持って帰ってきます。飼っている子犬と縄だけを使って、思いもよらない方法で狩りをしていたのです。奇想天外な虎退治の様子がゆかしい中国の昔話です。



□くまのコールテンくん

ドン＝フリーマン／さく まつおかきょうこ／やく 偕成社

コールテンくんはデパートのおもちゃ売り場に並んだくまのぬいぐるみです。ある日、1人の女の子が気に入ってくれますが、ズボンのボタンが取れていたため、お母さんは買ってくれません。夜になるとコールテンくんは、ボタンを探しに出かけました。



□きょうりゅうくんとさんぽ

シド・ホフ／作 いぬいゆみこ／訳 ペンギン社

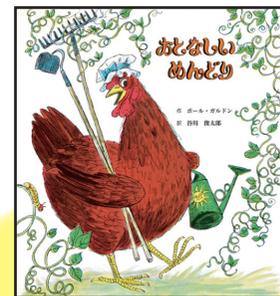
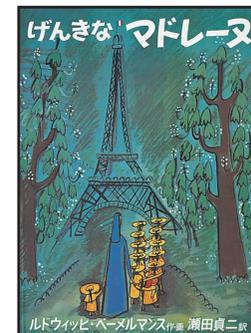
ダニーは博物館で大好きなきょうりゅうを見つけました。するときょうりゅうは突然しゃべりだし、ダニーを頭に載せて町へさんぽにでかけます。動物園に行ったり、ともだちとかくれんぼをしたりして、楽しいひとときを過ごします。



□げんきなマドレーヌ

ルドヴィッヒ・ベームルマンス／作・画 瀬田貞二／訳 福音館書店

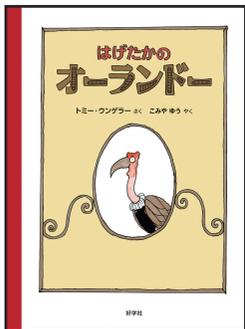
いつも元気なマドレーヌには、怖いものなんて何もありません。ところがある夜、お腹が痛くなって入院することになりました。パリの街並みを背景に、修道院で暮らす女の子たちの日常をいきいきと描いています。★シリーズあり



□おとなしいめんどり

ポール・ガルドン／作 谷川俊太郎／訳 童話館出版

小さな家に、犬と猫とねずみと赤いめんどりが住んでいました。家の仕事をするのはいつもめんどり。ある日小麦の種を見つけ種まきを頼みますが、「いやだ」と言って誰も手伝ってくれません。しかたなく、めんどりは一人でせっせと小麦を育てます。



□はげたかのオーランドー

トミー・ウンゲラー／さく こみやゆう／やく 好学社

オーランドーはメキシコに住むはげたかです。ある日砂漠に男の人が倒れているのを見つけ、何とか助けたいと思います。昼も夜も飛び続け、たくさんの人の力を借りて、ようやく家族を探し当て…。かしこく勇敢なオーランドーの活躍にワクワクします。



□サラダでげんき

角野栄子／さく 長新太／え 福音館書店

りっちゃんは、病気のお母さんのためにサラダを作り始めました。そこへ猫や犬、すずめやありが次々に来て、サラダに入ると元気になるものを教えてくれます。最後は飛行機に乗ったゾウまでやって来ますが…。



□さとやまさん

工藤直子／文 今森光彦／写真 アリス館

広い空の下、動植物が生き生きと暮らす里山。「さとやまさん」と親しみを込めて呼びかけるリズムカルな文章が楽しく、四季の風景の写真が美しい絵本です。里山の説明が小さい子どもにもわかりやすく書かれています。



□100まんびきのねこ

ワンダ・ガアグ／ぶん いしいももこ／やく 福音館書店

おじいさんは猫を飼いたいというおばあさんのために、猫がたくさんいる丘に行きます。けれども、どの猫もきれいなのでなかなか決められません。とうとう全ての猫を連れて帰ることにしました。

